

科目名		基準点測量Ⅰ			
担当教員	土田 正敏・稲田 巧		実務授業の有無	○	
対象学科	環境測量科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	64時間
授業概要、目的、授業の進め方	近年普及が著しいGNSS測量について学習する。内容が難しいので授業を良く聞いて、納得して内容を習得してほしい。また、GNSS測量分野の終了後には、公共測量作業規程を学習する。				
学習目標 (到達目標)	測量業界では重要となったGNSSについての理解を深める。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント配布（基準点測量記載要領・公共測量作業規定の準則）				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	GNSSの基礎知識		プリントを読み、重点部分にアンダーラインを引く。 また、必要なときは演習問題をする。		
2	単独測位		プリントを読み、重点部分にアンダーラインを引く。 また、必要なときは演習問題をする。		
3	GNSS測量		プリントを読み、重点部分にアンダーラインを引く。 また、必要なときは演習問題をする。		
4	GNSS測量の原理 一重位相差		プリントを読み、重点部分にアンダーラインを引く。 また、必要なときは演習問題をする。		
5	GNSS測量の原理 二重位相差		プリントを読み、重点部分にアンダーラインを引く。 また、必要なときは演習問題をする。		
6	RTK-GNSS測量		プリントを読み、重点部分にアンダーラインを引く。 また、必要なときは演習問題をする。		
7	電子基準点とセミダイナミック補正		プリントを読み、重点部分にアンダーラインを引く。 また、必要なときは演習問題をする。		
8	中間試験		GNSS測量の範囲の中間試験を実施する。		
9	公共測量作業規程の準則 第1章 通則		プリントを読み、重点部分にアンダーラインを引く。 最低限必要な項目を覚える。		
10	公共測量作業規程の準則 第2章 基準点測量		プリントを読み、重点部分にアンダーラインを引く。 最低限必要な項目を覚える。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
中間試験と小テストの合計とする。 期末試験60%、中間試験40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			測量業界では、GNSS測量の利用が加速しているため、今後は非常に重要な分野になると思われる。測量作業自体は単純だが必要最低限の理論を習得してほしい。		
実務経験教員の経歴	測量会社にて測量設計業務10年		・測量会社にて測量業務24年		

